

2014年3月17日

特定非営利活動法人  
日本臨床腫瘍学会 御中

ノバルティス ファーマ株式会社  
代表取締役社長 二之宮 義泰



「アフィニートール®錠 適正使用へのご協力依頼について」

拝啓

平素はひとかたならぬご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび弊社の抗悪性腫瘍剤/mTOR 阻害剤「アフィニートール®錠2.5mg、5mg（一般名：エベロリムス）」について、2014年3月17日に「手術不能又は再発乳癌」の効能・効果の承認を取得しました。当該承認に際しては本剤の適正使用のため、既承認の効能・効果と同様に以下の承認条件が付されることとなりました。

【承認条件】

乳癌の診断、化学療法に精通した医師によってのみ処方・使用されるとともに、本剤のリスク等についても十分に管理できる医師・医療機関・管理薬剤師のいる薬局のもとでのみ用いられるよう、製造販売にあたって必要な措置を講じること。

承認条件に従い、本効能・効果につきましても、本剤の適正使用を推進させて頂くため、添付文書、インタビューフォームに加え、本剤投与に際しての注意点や副作用とその対策等を解説した「アフィニートール適正使用ガイド 手術不能又は再発乳癌」を医療関係者へ提供させて頂きます。

また、本剤につきましては、2010年1月に「根治切除不能又は転移性の腎細胞癌」、2011年12月に「腓神経内分泌腫瘍」、2012年11月に「結節性硬化症に伴う腎血管筋脂肪腫、結節性硬化症に伴う上衣下巨細胞性星細胞腫」の承認取得をした際に、貴会を通じて本剤の適正使用についてご周知いただくようご協力をお願いしております。今回承認を取得いたしました「手術不能又は再発乳癌」につきましても、本剤の適正使用に関する貴会のご理解・ご協力をお願いするとともに、会員の先生方に対しましてもご周知を賜りたくお願い申し上げます。特に下記の留意すべき点につきまして、何卒、ご配慮の程、宜しくお願い申し上げます。

## 記

- (1) 以下に、本剤の添付文書【警告】の記載事項を抜粋いたします。下記事項につきましては、特段のご留意をお願いしたく存じます。その他の使用上の注意につきましては、添付文書をご参照くださいますようお願いいたします。

### 【警告】

1. 本剤の投与は、緊急時に十分対応できる医療施設において、がん化学療法又は結節性硬化症治療に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本療法が適切と判断される症例についてのみ投与すること。また、治療開始に先立ち、患者又はその家族に有効性及び危険性（特に、間質性肺疾患の初期症状、服用中の注意事項、死亡に至った例があること等に関する情報）を十分に説明し、同意を得てから投与を開始すること。
  2. 本剤の投与により、間質性肺疾患が認められており、死亡に至った例が報告されている。投与に際しては咳嗽、呼吸困難、発熱等の臨床症状に注意するとともに、投与前及び投与中は定期的に胸部CT検査を実施すること。また、異常が認められた場合には適切な処置を行うとともに、投与継続の可否について慎重に検討すること。（＜用法及び用量に関連する使用上の注意＞、「1.慎重投与」、「2.重要な基本的注意」、「4.副作用（1）重大な副作用」の項参照）
  3. 肝炎ウイルスキャリアの患者で、本剤の治療期間中に肝炎ウイルスの再活性化により肝不全に至り、死亡した例が報告されている。本剤投与期間中又は治療終了後は、劇症肝炎又は肝炎の増悪、肝不全が発現するおそれがあるので、定期的に肝機能検査を行うなど、肝炎ウイルスの再活性化の徴候や症状の発現に注意すること。（「2. 重要な基本的注意」、「4.副作用（1）重大な副作用」の項参照）
  4. 本剤とアフィニートール分散錠の生物学的同等性は示されていないので、切り換えに際しては、血中濃度を測定すること。（＜用法及び用量に関連する使用上の注意＞、【薬物動態】の項参照）
- (2) また、外来患者様におきましては、処方ごとに、注意事項等を記載しました文書（「アフィニートール錠治療確認シート」）の交付をお願い致します。上記警告 2. に記載しました通り、本剤の投与に際しては間質性肺疾患の発現に留意し、その初期症状として、咳嗽、呼吸困難、

発熱等の臨床症状がみられることがございますので、患者様ご自身又はご家族の皆様にご注意を促していただくとともに、初期症状が見られたら、予め治療確認シートに明記した連絡先に連絡し、医師の診察を受けるようご指導ください。

以上、末筆ではございますが、貴会の今後の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

敬具